



気仙沼市・東京海洋大学連携事業「“海と生きる”連続水産セミナー10th シーズン」第2回講座を開催します

- 気仙沼市と東京海洋大学は、連携協力に係る協定に基づく取り組みの一環として、第10期の第2回講座を、令和6年3月27日（水）に開催します。
- 今回の講座は、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センター広域性資源部外洋資源グループ主幹研究員・巢山哲氏が、『近年のサンマ資源減少にともなう生態の変化』のテーマで、気仙沼の会場より講演します。
- 日本のサンマの漁獲量は、昨年2.5万トンと前年を上回ったものの、依然として低水準であります。漁獲量の減少に伴い、漁獲最盛期の遅れや漁場の遠隔化、魚体の小型化が進み、北海道や東北沖の沿岸に漁場ができないなど、以前には考えられなかった変化が起きています。
- 国立研究開発法人水産研究・教育機構では、水産庁の委託を受けて、毎年漁期前の調査船による調査および漁期中の漁況や漁獲物の調査・研究を行っており、今回はこれらの調査から近年わかってきたサンマの分布・生態の変化や資源量減少のメカニズムについて、研究成果の紹介を行います。
- なお、第3回講座は令和6年4月17日（水）に、「北太平洋の海況について」をテーマとして予定しており、詳細は決まり次第改めてお知らせします。

【第2回講座の概要】

- 1 日 時 令和6年3月27日（水）午後3時から5時まで
- 2 場 所 気仙沼市水産研修センター 2階研修室
- 3 テー マ 「近年のサンマ資源減少にともなう生態の変化」
- 4 講 師 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
水産資源研究センター広域性資源部外洋資源グループ 主幹研究員 巢山 哲 氏
- 5 主 催 気仙沼市・東京海洋大学
- 6 受講方法 ①か②のどちらかを選択することができます。
① 水産研修センター研修室で受講
② オンラインで受講（Webexにて配信）
- 7 問合せ先 気仙沼市産業部水産課 【担当】小野 TEL22-3435
東京海洋大学三陸サテライト 【担当】小松 TEL29-6719

なお、これまでの開催実績は裏面のとおりです。

「海と生きる」連続水産セミナー」開催実績（第5期～） ※所属等は開催当時のものです。

【第5期】

第1回 H30.12.6	テーマ：「世界の漁船漁業と漁船員教育の現状」 講師：酒井 久治（東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 教授）
第2回 H31.1.24	テーマ：「選ばれる日本」を目指す労働力確保と育成の視点 ～外国人労働力に支えられる日本の水産業の未来を考える～ 講師：小松 俊明（東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構 教授）
第3回 H31.3.15	テーマ：「正しい冷凍技術の理解と新規水産事業展開の可能性」 講師：鈴木 徹（東京海洋大学 食品生産科学部門 教授）
第4回 H31.4.15	テーマ：「水産業の成長産業化と新しい資源評価・管理」 講師：田中 健吾（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事）
第5回 R元.5.22	テーマ：「海洋プラスチックごみに関する調査研究の現状と課題 ～マイクロプラスチックについて分かっていること、まだ分からないこと」 講師：東海 正（東京海洋大学 理事（教育・国際担当）兼副学長）

【第6期】

第1回 R元.12.5	テーマ：「最適航路の考え方と自動運航船の現状」 講師：庄司 るり（東京海洋大学 副学長（学生支援・広報担当））
第2回 R2.2.15	テーマ：「環境技術と水産業」～環境事業への取り組みのきっかけと環境コンサルタントの必要性 講師：田畑 日出男（いであ株式会社代表取締役会長・一般社団法人楽水会会長）

【第7期】

第1回 R2.11.27	テーマ：「スマート水産業の可能性と課題—電子商取引を中心として—」 講師：婁 小波（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R3.1.14	テーマ：「水中ロボットを使った水産業とその未来：持続可能な地域産業と豊かな海へ」 講師：和泉 充（東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 教授）
第3回 R3.3.10	テーマ：「IUU（違法・無報告・無規制）漁業の問題とこれからの漁業・資源管理—水産政策の改革を踏まえて—」 講師：松井 隆宏（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）
第4回 R3.6.7	テーマ：「水産情報のスマート化—漁業情報サービスセンターの取り組み」 講師：和田 時夫（一般社団法人 漁業情報サービスセンター 会長）外6名

【第8期】

第1回 R4.3.23	テーマ：「世界の海で何が起きているのか」 講師：森下 丈二（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R4.4.14	テーマ：「地球温暖化と海～日本と世界の海で何が起きているのか」 座長：神田 譲太（東京海洋大学教授・日本海洋学会会長） 報告：「漁業の現場で今何が起きているのか」 齋藤 徹夫（気仙沼漁業協同組合 代表理事組合長） 「地球温暖化による海の変化とその影響」 須賀 利雄（東北大学大学院理学研究科 教授） 「地球全体のスケールで二酸化炭素を考えることの重要性と海洋」 野尻 幸宏（前 弘前大学理工学研究科 教授） 「酸性化が進む海～遠い北極海・身近な東京湾～」 川合 美千代（東京海洋大学学術研究院 准教授） 「地球温暖化が水産資源にどのような影響を及ぼしているか」 北門 利英（東京海洋大学学術研究院 教授）
第3回 R4.6.7	テーマ：「日本の漁業・水産業に何が起きているのか—その要因と今後を考える」 講師：松井 隆宏（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）

【第9期】

第1回 R4.12.5	テーマ：「『水産エコラベル新時代』にどう向き合う？」 講師：垣添 直也（一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会会長）
第2回 R5.1.23	テーマ：「工夫すれば魚は売れる—漁師から見たらゴミ，消費者から見たら宝！」 講師：野本 良平（羽田市場株式会社代表取締役社長CEO）
第3回 R5.3.25	テーマ：「たかが魚屋，されど魚屋～なぜ角上魚類は『魚離れ』の時代に支持されるのか～」 講師：柳下 浩三（角上魚類株式会社 代表取締役社長）
第4回 R5.6.12	テーマ：「養殖業の最新動向と今後の展望」 講師：廣野 育生（東京海洋大学 海洋生物資源学部門 教授）

【第10期】

第1回 R5.12.15	テーマ：「海業の振興と課題」 講師：婁 小波（東京海洋大学 副学長・海洋政策文化学部門 教授）
-----------------	--